

令和7年度 岩手県地域年金事業 運営調整会議

令和7年7月



日本年金機構

Japan Pension Service

盛岡年金事務所
(岩手県代表年金事務所)

目 次

1. 地域年金展開事業の概要	2～4頁
2. 令和6年度事業取り組み状況	5～24頁
○ 地域連携事業	6～8頁
○ 年金セミナー事業（普及・啓発事業）	9～13頁
○ 地域相談事業	14～16頁
○ 年金委員活動支援事業	17～21頁
○ 岩手県地域年金事業運営調整会議	22～23頁
○ 「ねんきん月間」「年金の日」の取り組み	24頁
3. 令和7年度事業計画	25～28頁
○ 重点項目	26頁
○ 令和7年度事業計画	27～28頁

1. 地域年金展開事業の概要

1. 地域年金展開事業の概要 (1/2)

日本年金機構 / 情報の提供側

本部 広報室

・各事業部で策定した広報計画を取りまとめ、全体の広報実施計画を策定、進捗管理

本部 各事業部

・各事業部において、年度の取組計画及び広報計画の策定、実施

連携

連携・共有

連携・共有

事業推進統括部 管理・市区町村調整G

・各事業部及び広報室との連携・共有、情報の確認
・関係機関との連携・共有、効果的な情報提供
・地域代表年金事務所との連携、連絡調整の依頼
・年金事務所への情報の提供、取組の指示発信
・年金委員への情報の提供、活動の協力依頼

連携・報告

地域代表年金事務所

・本部との連携、連絡調整
・年金事務所への助言、取組状況の把握、報告

連携・報告

年金事務所

・地域年金展開事業の実施
・年金委員、地域年金推進員への研修、情報提供、活動の要請

年金委員

連携・共有

連携・共有する機関

厚生労働省 ⑤

・年金局
・職業安定局
・保険局
・社会・援護局
・地方厚生(支)局

地域 ⑤

・地域のコミュニティ(自治会・町内会)
・地元企業
・教育機関(大学・高校・専門学校)
・商業施設・商工会
・地方自治体

関係機関/団体 ⑤

・全国年金受給者団体連合会
・全国社会保険協会連合会
・全国社会保険委員会連合会
・社会保険労務士会
・社会福祉協議会
・全国健康保険協会/各健康保険組合
・国民年金基金

各事業部の取組

- ・未適用事業所にかかる取組
- ・被保険者の適用にかかる調査
- ・納付督促、免除勧奨にかかる取組
- ・年金給付にかかる取組
- ・等

地域年金展開事業

～公的年金制度の周知～

- ① ポスター、チラシ、リーフレット等の配布
- ② 年金制度説明会の実施
- ③ 年金セミナーの実施
- ④ 出張年金相談
- ⑤ 地域年金事業運営調整会議
- ⑥ 「ねんさん月間」、「年金の日」における各種取組
- ⑦ 「わたしと年金」エッセイ

各事業の策定

地域年金展開事業の策定

各事業の実施

年金制度の周知・啓発

情報の受手側

学生

取組: ①③⑥⑦

国民年金の被保険者

取組: ①②③④⑥⑦

厚生年金保険の被保険者

取組: ①②④⑥⑦

事業主

取組: ①②④⑥⑦

年金受給者

取組: ①②④⑥⑦

地域のネットワーク / 協力・連携する機関

協力・連携

1. 地域年金展開事業の概要（2/2）

地域年金展開事業の主な取り組み

- ◆公的年金制度の普及・啓発や国民年金保険料収納の向上等のため、関係機関との連携協力のもと『年金制度説明会』や『年金セミナー』、『出張年金相談』等を実施します。
- ◆また、日本年金機構が取り組む公的年金制度の普及・啓発活動について、都道府県ごとに関係者や有識者からなる『地域年金事業運営調整会議』を開催し、事業推進の意見や助言を伺います。

《本来の取り組み内容》

地域連携事業	<ul style="list-style-type: none">・職員が自治体や民間企業、関係団体等に出向き、事務担当者や従業員向けの年金制度説明会を実施。・市区役所・町村役場の広報誌や行事等を通じ年金制度や日本年金機構が行う事業の周知、ポスター・チラシの掲示や設置、配付の依頼等。
年金セミナー事業 (普及・啓発事業)	職員が、大学や専門学校、高校等に出向き、学生・生徒向けの年金セミナーを実施。大学での年金相談や学生納付特例制度の申請窓口の開設や、パンフレットの掲示や設置、配付の依頼等。
地域相談事業	年金事務所から遠方の地域住民や利便性などのニーズに応えるため、市区役所・町村役場や大規模商業施設、イベント会場等で、出張年金相談や免除申請窓口を開設。
年金委員 活動支援事業	年金委員を対象とした研修会の開催や、各種冊子・チラシ等、活動に役立つ情報を提供。
地域年金事業 運営調整会議	公的年金制度の普及・啓発等についての検討や年金事務所が行う事業への意見・助言を行うため、学識経験者や関係機関等を委員として都道府県単位に設置。

2. 令和6年度事業取り組み状況

2. 令和6年度事業取り組み状況

○地域連携事業

(1) 市町村との連携

- 市町村と連携して、国民年金事業および地域展開事業に関する各種取り組みを実施しました。
- あわせて、管轄の年金事務所長から市町村長等に対して、国民年金事業等に係る事業報告を行うとともに、各種取り組みに関する協力要請を行い、事業の推進を図りました。

項目		取り組み内容	令和6年度総括
地域住民への 周知・広報	市町村発行の広報誌 における記事掲載	<ul style="list-style-type: none"> 市町村発行の広報誌において、複数回に渡って公的年金制度に関する記事を掲載いただきました。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域に根ざした市町村と連携し、地域住民に対する周知・広報を実施しました。
	市町村窓口での リーフレット等の設置	<ul style="list-style-type: none"> ねんきんネット、年金相談予約制、国民年金手続の電子申請、「わたしと年金」エッセイ募集、ねんきん月間等に関するポスター・リーフレットを設置・活用いただきました。 	
市区町村向け 情報提供	情報誌「かけはし」 の発行	<ul style="list-style-type: none"> 奇数月に、市町村に対する情報誌「かけはし」（編集責任者：本部事業推進統括部）を発行し、制度改正内容や障害年金請求事務手続きにかかる留意事項、受給者・被保険者に向けた送付物の内容等の情報提供を行いました。 偶数月には、「かけはし」号外として盛岡年金事務所から、事務処理上の留意点や受給者・被保険者に向けた送付物の内容等の補足的な情報提供を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民と接する市町村に対して、適時に情報提供を行うことで、市町村との連携を強化し、国民年金の適正な届出等を促進しました。
市町村職員向け 研修	業務研修	<ul style="list-style-type: none"> 国民年金事務担当者に対する研修会を開催しました。事例など具体的な内容を中心に、対面・集合形式で開催しました。 機構が貸与する端末等の機器操作に関して、事務所職員が市町村へ出向いて、研修を実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 市町村職員への事前ヒアリングや開催時のアンケート調査によりニーズを把握した上で、市町村職員の要望に沿った形での研修を実施しました。 対面の機会を活用して、日頃の業務の疑問点の解消に向けた意見交換を行いました。また、市町村職員からの質問等を踏まえつつ、業務や制度の補足説明を行うことで、市町村職員の更なるスキル向上を図りました。

2. 令和6年度事業取り組み状況

○地域連携事業

(2) 関係機関との連携

- 年金制度や事務手続きの周知・広報を中心に、関係機関と連携した上で各種取り組みを推進しました。

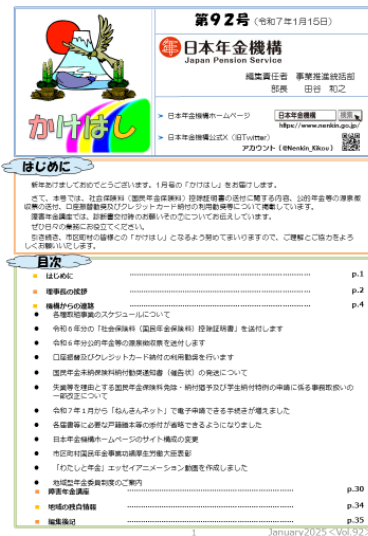
関係機関名	取り組み内容	令和6年度総括
全国健康保険協会岩手支部 <small>（健康保険の保険者として健康保険事業および船員保険事業を実施。）</small>	<ul style="list-style-type: none"> 年金委員等功労者表彰伝達式と研修会を共同開催し、制度改正等について年金委員への周知を図りました。 	<ul style="list-style-type: none"> 協会と連携し年金委員に対する周知を行うことで、公的年金に係る適正な届出等の促進を図りました。 ⇒年金委員関係の詳細は17頁以降参照
岩手県社会保険協会 <small>（健康保険および厚生年金保険の適用を受けている事業主を会員として都道府県に設立。社会保険制度の普及発達に寄与し、被保険者および家族の福利厚生に関する事業を実施。）</small>	<ul style="list-style-type: none"> 公的年金制度に係る記事の提供を行い、「社会保険いわて」に記事を掲載いただきました。 協会主催の事務担当者説明会、年金制度説明会へ講師を派遣し、事業所担当者に対して年金制度改正等の説明を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> 協会と連携し、事業所に対する周知・広報を実施しました。 事業所担当者に対して、年金制度等の説明を行うことで、公的年金に係る適正な届出等を促進しました。
岩手県社会保険労務士会 <small>（社会保険労務士会会員の資質の向上と業務の改善進歩を図るため、会員の指導および連絡に関する業務を実施。）</small>	<ul style="list-style-type: none"> 社労士会との毎月の定例会議の中で、各年金事務所の相談窓口の業務委託状況や課題等について情報共有し、意見交換を行いました。 岩手県社会保険労務士会支部主催の研修会へ講師を派遣し、年金制度説明を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に情報提供や意見交換を行うことで、社労士会との連携を強化しました。 事例を交えながら業務や制度の補足説明を行うことで、年金事務所に配置される窓口社労士の更なるスキル向上を図りました。
岩手県商工会議所連合会 岩手県商工会連合会	<ul style="list-style-type: none"> 「公的年金制度説明会のご案内」、「厚生年金保険・健康保険制度のご案内」のパンフレットの設置や「わたしと年金」エッセイ募集や予約年金相談の周知用ポスター・リーフレットの設置について協力要請を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> 制度改正や地域展開事業に係る各種取り組みについて、連合会への情報提供を通じて、事業所に対する周知・広報を図りました。
報道機関	<ul style="list-style-type: none"> 報道機関18社へ「わたしと年金」エッセイ募集、「ねんきん月間」および「年金の日」、「第5回岩手県年金ポスターコンクール」募集等の周知・協力要請を行いました。 コミュニティラジオ・コミュニティFMやケーブルTVにおいては、「予約相談」や「ねんきんネット」等の公的年金についての制度広報を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> 制度改正や地域展開事業に係る各種取り組みについて、報道機関への情報提供を通じて、地域住民等への周知・広報を図りました。

2. 令和 6 年度事業取り組み状況

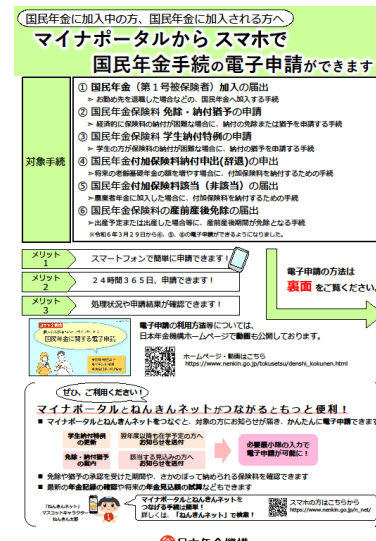
○地域連携事業

(3) 今後の対応

- 引き続き市町村および関係機関と連携して、地域住民や事業所等に対する周知・広報を推進してまいります。
- 公的年金に係る適正な届出等を促進するために、市町村職員、社労士、事業所担当者等に対する情報提供や研修等の機会を通じて、市町村および関係機関との連携を強化し取り組んでまいります。
- 年金委員や事業所担当者に対する研修の実施にあたっては、市町村および関係機関と連携して研修の質の向上に取り組んでまいります。



市町村向け情報誌かけはし第92号
(令和7年1月15日)



周知・広報用リーフレット



2. 令和6年度事業取り組み状況

○年金セミナー事業（普及・啓発事業）

（1）年金セミナー（1/2）

- 新型コロナウイルス感染症に係る社会情勢の変化を踏まえつつ、県内の大学、短期大学、専門学校、高等学校等に出向いて、学生本人との対面方式による年金セミナーを開催しました。また税務署による租税教室とのコラボ開催も一部で実施いたしました。
- 学生の保護者向けの取り組みとして、特別支援学校において障害年金セミナーを開催しました。

○事務所別実施状況 ※（ ）内はオンラインおよびDVD視聴による実施の再掲

事務所名	令和5年度末	令和6年度末実績	増減
盛岡	17校（1校）	13校（1校）	-4校
一関	8校（0校）	6校（0校）	-2校
宮古	7校（0校）	4校（0校）	-3校
二戸	5校（0校）	6校（1校）	+1校
花巻	10校（0校）	9校（0校）	-1校
合計	47校（1校）	38校（2校）	-9校

写真の掲載については、
ご本人の了承をいただいています。



税務署職員による租税教室の様子
(岩手女子高等学校)

○教育機関別実施内訳 ※（ ）内は参加者数

教育機関	令和5年度末	令和6年度末実績
大学・短大	5校（585名）	4校（542名）
専門学校	12校（600名）	13校（452名）
高等学校	19校（1,589名）	19校（1,503名）
特別支援学校	9校（245名）	1校（4名）
中学校	2校（43名）	1校（11名）
合計	47校（3,062名）	38校（2,512名）



二戸年金事務所職員による年金セミナーの様子
(久慈東高等学校)

2. 令和6年度事業取り組み状況

○年金セミナー事業（普及・啓発事業）

（1）年金セミナー（2/2）

- 学校への事前ヒアリングや過去のアンケート調査結果（「【別添2】年金セミナーアンケート結果」参照）によりニーズを把握した上で、地域年金推進員（注）と連携して、学校側のご要望に沿った形で実施しました。

事務所職員による年金セミナーの様子（専門学校）



社会保障制度ってどんなもの？

社会保障とはその国の国民が健康で文化的な生活を送ることができるように国が設けている政策のこと。

社会保障 公的年金 社会福祉 公衆衛生及び医療	医療保険 雇用保険 労災保険 生活保護 児童福祉 身体障害者福祉 高齢者福祉 介護保険
---	---

保険料を納めるのは国民の義務



公的年金は「世代と世代の支え合い」



職員説明用スライドの一部

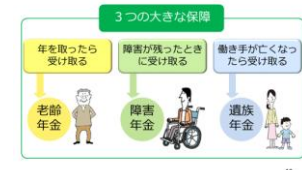
地域年金推進員（注）による年金セミナーの様子（高等学校）



写真の掲載については、ご本人の了承をいただいています。



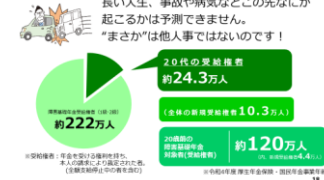
公的年金の給付は3種類



延びる平均寿命



公的年金は「まさか」を支えます



地域年金推進員（注）説明用スライドの一部

（注）学校の連絡・調整や生徒へのプレゼンテーション能力に長けた教員OB 1 名を「地域年金推進員」として委嘱し、主に岩手県内の高等学校を対象とした年金セミナーの講師等の業務に従事しております。

2. 令和6年度事業取り組み状況

○年金セミナー事業（普及・啓発事業）

（2）岩手県年金ポスターコンクール

- ・ 中学生の段階から公的年金を身近に感じていただくため、厚生労働省東北厚生局、岩手県教育委員会等の7団体に後援をいただき、県内の中学校において年金をテーマとしたポスターを作成、ご応募いただきました。

【募集期間】 令和6年6月3日～令和6年9月17日

【応募資格】 岩手県内の中学生

【応募結果】 応募校30校、応募者数108名

【賞授与実績】 最優秀賞1名、優秀賞3名、年金事務所長賞5名、入選6名

特別賞（厚生労働省東北厚生局長賞）1名 （計16名）

※受賞作品について、盛岡年金事務所より令和6年11月29日付で報道発表しております。



最優秀作品



写真の掲載については、
ご本人の了承をいただいています。



最優秀賞・優秀賞表彰式の様子（見前中学校）



写真の掲載については、
ご本人の了承をいただいています。

2. 令和6年度事業取り組み状況

○年金セミナー事業（普及・啓発事業）

(3) 「わたしと年金」エッセイ募集

- 年金制度の意義、公的年金制度と国民の結び付き等について考えていただくため、自身や家族等の身近な方と公的年金制度との関わりについてエッセイを募集し、ご応募いただきました。

【募集期間】 令和6年6月3日～令和6年9月9日

【応募資格】 全国の中中学生以上の方

【応募結果】 応募総数1,489名

【賞授与実績】 厚生労働大臣賞1名、日本年金機構理事長賞1名

優秀賞4名、入選5名（計11名）

※受賞作品について、厚生労働省より令和6年11月29日付で報道発表しております。
（岩手県からの応募はありませんでした。）



年金エッセイ募集ポスター

《岩手県年金ポスターコンクール作品展示の様子》



令和6年12月24日～令和7年1月7日（マリオス）



令和6年12月26日～令和7年1月17日（イオンモール盛岡）

2. 令和6年度事業取り組み状況

○年金セミナー事業（普及・啓発事業）

（4）総括と今後の対応

項目	総括	今後の対応
年金セミナー	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年4月から7月にかけて、地域年金推進員と連携して、岩手県教育委員会や岩手県高等学校長協会等の関係機関に対して年金セミナー実施に関する協力を依頼しました。また、岩手県高等学校教育研究会地歴・公民部総会において年金セミナーに関するプレゼンテーションを実施し、年金セミナー実施に関する協力を依頼しました。 令和6年度においては、新型コロナウイルス感染症に係る社会情勢の変化を踏まえつつ、学校側の要望に応える形で対面・集合方式による年金セミナーを開催しました。また、税務署とのコラボ開催も実施しました。 各学校に対して個別にアプローチを実施した結果、38校からの申込があり順次開催しております。また、特別支援学校については、1校から申込がありました。 	<ul style="list-style-type: none"> 各教育機関のご要望等を踏まえ、次年度以降の開催も見据えたアプローチを継続してまいります。また、開催実績の無い学校や未実施の学校に対しても粘り強くアプローチを継続してまいります。 説明に当たっては、学生にとって年金セミナーの受講が有意義な機会となるよう、セミナー後の反応やアンケート結果をもとに説明の仕方を工夫してまいります。 特別支援学校での年金セミナーの開催に関しては、学生の保護者に対する障害年金制度の周知の機会として捉え、今後も継続して取り組んでまいります。
年金ポスターコンクール	<ul style="list-style-type: none"> 厚生労働省東北厚生局、岩手県教育委員会等の7団体に後援をいただき、県内の中学生を対象とした「第5回岩手県年金ポスターコンクール」を開催しました。 県内30の中学校（初応募校7校）から108作品の応募がありました。令和5年度から応募数が倍増となったこと等を踏まえると、岩手県内の取り組みとして中学校に定着しつつあります。 	<ul style="list-style-type: none"> 次年度以降の応募拡大を目指して、「わたしと年金」エッセイ募集や年金セミナー開催のアプローチ等とあわせて、中学校および関係機関を通じて周知・応募依頼を行ってまいります。
「わたしと年金」エッセイ	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年6月に募集に関する報道発表を行い、教育機関への年金セミナーアプローチとあわせて周知・応募依頼を行いました。 図書館および公民館の他、主要な商業施設や郵便局、交通機関に対して募集用ポスター・リーフレットの設置・掲示を依頼しました。 岩手県からの応募はありませんでした。 	<ul style="list-style-type: none"> 学生からの応募拡大を目指して、年金セミナーおよび年金ポスターコンクールとあわせての各学校を通じた周知・応募依頼に力を入れて取り組んでまいります。 関係機関と連携して、目に触れる場所や施設等の募集用ポスター・リーフレットの設置・掲示に向けて協力依頼先を拡大し、一般の方々に対する周知・広報活動を進めてまいります。

2. 令和6年度事業取り組み状況

○地域相談事業

(1) 市町村等における出張年金相談

- 年金事務所から距離のある地域に在住するお客様への相談サービスの充実のために、市町村等の年金事務所以外の場所において出張年金相談を実施しております。

事務所名	実績（令和6年度末）		
	実施場所（実施頻度）	実施回数	相談者数
盛岡	八幡平市役所（毎月1回）、岩手町ゆはず交流館（毎月1回）、紫波町役場（奇数月）、葛巻町役場（偶数月）	36回	312名
一関	陸前高田市役所（偶数月）、大船渡市役所（毎月1回）、奥州市役所本庁（奇数月）、奥州市役所江刺総合支所（偶数月）	30回	438名
宮古	釜石市青葉ビル（毎月1回）	12回	160名
二戸	久慈市文化会館（毎月2回）	24回	329名
花巻	遠野市役所（毎月1回）	12回	96名

(2) ハローワークにおける離職者説明会での国民年金説明会

- ハローワークに職員を派遣し、離職者の方々へ国民年金の加入、納付、免除の手続きに関する説明会を実施し、国民年金に係る適正な届出や保険料納付等を促進しました。
- 説明会場スペースの関係で説明会の開催が困難となっている事務所（盛岡）においては、引き続きハローワークに対して、離職者の方々への資料配布等に関する協力を依頼しております。

開催年金事務所	実施回数	参加人数
一関（ハローワーク一関）	53回	1,168名
宮古（ハローワーク宮古・釜石）	49回	670名
二戸（ハローワーク二戸）	48回	434名
花巻（ハローワーク花巻）	51回	929名

2. 令和6年度事業取り組み状況

○地域相談事業

(3) 確定申告会場における出張オンラインサービス利用相談

- 令和7年度の日本年金機構の組織目標では『「挑戦と改革」－お客様サービスの一層の向上のためデジタル化を推進－』を掲げており、地域年金展開事業の取り組みとも連携し、機構全体でオンラインサービスの更なる利用促進に取り組んでおります。
- その取り組みの一環として、盛岡年金事務所では、盛岡税務署と連携して、確定申告会場において職員による相談ブース(マイナポータル連携コーナー)を設置し、確定申告に必要な書類(※)を持参せず来訪した方等に対して、マイナポータルとの認証連携によるねんきんネットの利用方法や必要書類(PDFファイル)のダウンロード方法等の案内を行いました。

(※) 公的年金等の源泉徴収票、社会保険料(国民年金保険料)控除証明書

○盛岡年金事務所における出張オンラインサービス利用相談の取り組み

【設置期間】 令和7年2月13日～令和7年3月17日 (土日祝祭日を除く24日間)

【設置場所】 確定申告会場 (アイーナ 岩手県民情報交流センター 7F 小田島組☆ほ～る) 出入口付近

【来訪者数】 517人 (うち「ねんきんネット」等のサービスに利用登録いただいた方: 317人)

【来訪者の声】 e-TAX申告に利用できることを知らなかった、オンラインでの手続き方法を教えてもらえてよかった 等



確定申告会場の出入口の様子



出張オンラインサービス利用相談ブースの様子



2. 令和6年度事業取り組み状況

○地域相談事業

(4) 令和6年度総括と今後の対応

項目	令和6年度総括	今後の対応
市町村等における出張年金相談	<ul style="list-style-type: none"> 市町村等の年金事務所以外の場所において、定期的に出張年金相談を実施しました。 市町村発行の広報誌において、出張年金相談の開催に関する記事を掲載いただきました。 	<ul style="list-style-type: none"> 年金事務所から距離のある地域に在住するお客様への相談サービスの充実、地域住民の利便性を確保するため、市町村と連携した上で、引き続き出張年金相談を実施してまいります。
ハローワークにおける離職者説明会での国民年金説明会	<ul style="list-style-type: none"> ハローワークに職員を派遣し、離職者の方々へ国民年金の加入、納付、免除の手続きについての説明会を実施しました。 会場スペースの関係で説明会の開催が困難となっている事務所（盛岡）においては、引き続きハローワークに対して、離職者の方々への資料配布等に関する協力を依頼しております。 	<ul style="list-style-type: none"> 国民年金手続きや保険料の納め忘れの防止、失業による特例免除制度の周知等を進めるために、ハローワークでの説明会は貴重な機会と考えており、引き続き説明会を実施してまいります。また、事業所閉鎖等による退職予定者説明会への参加は、ハローワークと協力連携を図りながら実施してまいります。 会場スペースの関係で説明会の開催が困難となっている事務所においては、国民年金制度説明会が再開できるようハローワークと調整してまいります。
確定申告会場における出張オンラインサービス利用相談	<ul style="list-style-type: none"> 盛岡年金事務所から確定申告会場に職員を派遣し、来訪者へのマイナポータルとの認証連携によるねんきんネットの利用方法や必要書類（PDFファイル）のダウンロード方法等の案内を行いました。 一関、宮古、二戸、花巻年金事務所においても、管轄税務署と連携して試行実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> オンラインサービスの更なる拡充と利用促進を進めるために、確定申告会場での出張相談は貴重な機会と考えており、引き続き実施してまいります。また、年金事務所による相談ブースの開設に当たっては、管轄税務署と緊密に連携した上で実施してまいります。 試行実施した事務所においては、来年の本格実施に向けて、当日の対応スタッフの育成および管轄税務署との調整を進めてまいります。

2. 令和6年度事業取り組み状況

○年金委員活動支援事業

(1) 年金委員とは

- 厚生労働大臣からの委嘱を受けて、政府が管掌する厚生年金保険や国民年金の事業について、会社や地域で啓発・相談・助言等の活動を行う民間協力員です。活動する範囲により「職域型」と「地域型」の2つに区分され、前者は主に厚生年金保険に加入している事業所内、後者は主に自治会などの地域において活動しています。
- 年金委員は、厚生年金保険の適用事業所の事業主、被保険者および地域住民等に対して、主に次の活動を行います。
 - ① 日本年金機構が実施する年金制度等に関する説明会および普及啓発活動への協力
 - ② 日本年金機構が発出する各種通知やお知らせ等に関する説明および相談
 - ③ 各種届出手続についての相談および助言並びに適切な届出の励行
 - ④ 日本年金機構が行う年金記録の正確な管理のための事業への協力および支援
 - ⑤ 前各号に掲げるものの他、政府管掌年金事業の推進に必要な活動

(2) 年金委員の委嘱拡大

- 全年金事務所で、職域型年金委員が委嘱されていない事業所を対象に、年金委員制度の周知および委嘱の推薦依頼を行いました。また、年金委員辞退の際には後任者の推薦依頼を行いました。
- 地域型年金委員については、地域で活動できる年金委員の拡大を目指し、市町村、教育機関を中心に地域型年金委員制度の周知および委嘱の推薦依頼を行いました。

○岩手県年金委員委嘱者数

年金委員	令和5年度末	令和6年度目標	令和6年度末現在
職域型	2, 535名	2, 557名	2, 518名
地域型	137名	147名	127名

2. 令和6年度事業取り組み状況

○年金委員活動支援事業

(3) 年金委員への研修会、連絡会等

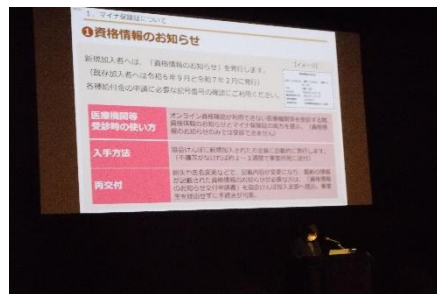
- 全国年金委員研修は、県の代表の年金委員が東京に参集して受講する方式に加え、日本年金機構のテレビ会議システムを使用して、管轄の年金事務所で受講する方式で実施されました。

	東京参集型	テレビ会議システム視聴型	
日時	令和6年11月11日（月）・12日（火）	令和6年11月11日（月）	
開催場所	本部障害年金センター（東京）	地域型	職域型
		管轄年金事務所	
参加手段	開催場所に参集	テレビ会議システム	
実施内容	<ul style="list-style-type: none">厚生労働省年金局による事業説明（年金制度改正等について）日本年金機構の事業に関する説明（被用者保険の適用拡大、オンラインサービスの推進、国民年金に係る制度周知、在職老齢年金、扶養親族等申告書の電子申請）		

- 岩手県内各地域において、職域型年金委員および地域型年金委員に対して年金制度に関する研修会や定期連絡会を開催しました。盛岡年金事務所が主催した研修会には、岩手労働局および全国健康保険協会岩手支部からも研修講師を派遣いただきました。



年金委員研修会【岩手労働局による説明】
(令和7年1月23日盛岡アイーナ)



年金委員研修会【全国健康保険協会岩手支部による説明】
(令和7年1月23日盛岡アイーナ)



年金委員連絡会および研修会
(令和7年2月25日盛岡八幡宮)

写真の掲載については、ご本人の了承をいただいています。

2. 令和6年度事業取り組み状況

○年金委員活動支援事業

(5) 年金委員功労者表彰の実施

- 多年にわたり年金事業の推進および発展に貢献された年金委員の方々を対象とした年金委員功労者表彰伝達式を、全国健康保険協会岩手支部との共催により開催しました。また式典前には受賞者を対象にした制度説明会を開催しました。

【開催日】 令和6年11月21日（火）

【開催場所】 ホテルメトロポリタン盛岡「NEW WING」

【表彰対象】 厚生労働大臣表彰 1名

日本年金機構理事長表彰 3名

日本年金機構理事表彰 5名



受賞者の皆様

写真の掲載については、ご本人の了承をいただいています。



厚生労働大臣表彰伝達の様子（澤口 敏子さん）



理事長表彰伝達の様子（佐藤真実さん、佐々木健さん）



写真の掲載については、ご本人の了承をいただいています。

2. 令和6年度事業取り組み状況

○年金委員活動支援事業

(6) 令和6年度総括と今後の対応

項目	令和6年度総括	今後の対応
年金委員の委嘱拡大に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・職域型年金委員の委嘱拡大に向けて、被保険者80人以上の未設置事業所に対して、特に重点的に文書勧奨、電話勧奨を行いました。 ・地域型年金委員の委嘱拡大に向けて、地域で活動できる年金委員の拡大を目指して、市町村、教育機関を中心に地域型年金委員制度の周知および委嘱の推薦依頼を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職域型年金委員のメリットをPRしながら、年金委員未設置事業所へ委嘱勧奨を引き続き取り組んでまいります。また、全国健康保険協会岩手支部と協力・連携した上で委嘱勧奨を行ってまいります。 ・地域型年金委員に関しては、引き続き、市町村、教育機関の他、民生委員、社会福祉協議会等への協力依頼を行ってまいります。
年金委員への研修会、連絡会等の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・年金委員研修会や連絡会については、多くの方に参加していただけるよう、開催時間や開催方法（対面式、非対面形式等）を工夫して実施しました。 ・全国年金委員研修では、東京参集型による参加の他、県内各年金事務所に参集したテレビ会議視聴型による参加を並行して行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も対面形式による研修会や連絡会等を開催する他、テレビ会議システムおよびWeb会議ツールを活用したオンラインによる非対面形式でも開催拡充を図ってまいります。 ・年金委員の活動に有意義な情報を効果的に提供するため、研修の実施方法や内容、説明の仕方を工夫してまいります。
年金委員への情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に広報誌を作成し、年金委員が普及啓発活動を行うために必要な情報を積極的に発信しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、職域型年金委員および地域型年金委員へ年金制度改正等の必要な情報提供を充実させてまいります。

2. 令和6年度事業取り組み状況

○岩手県地域年金事業運営調整会議

(1) 地域年金事業運営調整会議の開催

- 地域住民の公的年金制度に対する理解をより深め、制度の加入や保険料納付の向上に繋がるよう地域における支援のネットワークを構築し、地域に根ざした年金事業の積極的な推進を図ることを目的として地域年金事業運営調整会議を開催しました。

令和6年度会議

【開催日】 令和6年7月18日（木）

【議事内容】 国民年金保険料の納付状況等

令和5年度地域年金展開事業取り組み状況

※年金セミナー実演

令和6年度事業計画

地域年金事業運営調整会議規程の改正



会議の様子

写真の掲載については、ご本人の了承をいただいています。



年金セミナー実演の様子

2. 令和6年度事業取り組み状況

○岩手県地域年金事業運営調整会議

(2) 会議でいただいたご意見への対応状況

項目	ご意見	対応状況
地域連携事業	<ul style="list-style-type: none"> ・短時間労働者の適用拡大に係る事業所あて制度説明資料（パンフレット）の内容で労働意欲を阻害しかねない文言があるという声がありますので、ご確認いただきたい。 ・年収の壁により企業の労働力そして女性の低年金という問題が生じている。この点について広く一般の県民へ周知するため関係機関との連携をはじめハローワークにおける「マザースコーナー」での説明会拡大をお願いする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・左記ご意見につきましては内容を確認のうえ本部担当部に報告いたしました。 ・制度を正しく周知するためにも重要な機会と考えます。岩手県労働局をはじめハローワークとも連携しながら説明会開催に向けて検討してまいります。
年金セミナー事業	<ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働省年金局主催の学生との年金対話集会について、四年制の大学を中心に開催勧奨を行っている。年金セミナー開催勧奨の際に当事業のアナウンスもお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・連携して進めて行くという点では現在も実際に行っているところですが、引き続き年金セミナー開催勧奨の際には学生に向けた取り組みとして関係機関と連携させていただきます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・学生納付特例事務法人制度について、東北厚生局では大学・短大・専門学校・各種学校に対し文書もしくは電話にて勧奨を実施している。年金事務所職員の同行をいただく形で進めているところですので、引き続きお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・連携して進めて行くという点では現在も実際に行っているところですが、引き続き学生に向けた取り組みとして連携させていただきます。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・運営調整会議の目的には「年金制度に対する理解を深め制度への加入促進と保険料納付の向上に繋げる」とあります。若い世代の方の生の話や意見を伺うため、この運営調整会議に学生、大学生、学生組織の方、日本青年会議所の方々から意見を聞く機会を設けてはどうか、ご検討をお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・若い世代のご意見をどのような形で皆様にこの場でお伝えできるのか、全国でそのような取り組みがあるのかを含め検討してまいります。

○「ねんきん月間」「年金の日」の取り組み

厚生労働省との連携により、11月の「ねんきん月間」において、公的年金制度の普及・啓発活動を展開しました。

また、11月30日（いいみらい）の「年金の日」には、公的年金制度を身近に感じ理解を深めていただくことを目的とした取り組みを、関係各機関のご協力をいただきながら実施しました。



年金委員研修会【年金事務所・協会けんぽ共同開催】
（令和6年11月21日ホテルメトロポリタン盛岡）

「ねんきん月間」の主な取り組み

年金委員功労者表彰伝達式の実施（全年金事務所）

全国年金委員研修の開催（全年金事務所）

市町村役場等における出張年金相談の開催（全年金事務所）

岩手県年金ポスターコンクール応募作品の展示（全年金事務所）

関係機関における年金制度説明会開催（二戸）

市町村年金担当職員に対する事務研修会の開催（二戸）

国民年金納付相談会の開催（二戸）

教育機関における年金セミナーの開催（一関・宮古・花巻）

年金委員研修会の開催（盛岡・一関・宮古・二戸・花巻）

市町村広報誌、コミュニティFM、ケーブルテレビを活用した年金制度の周知広報（盛岡・宮古・二戸）

3. 令和7年度事業計画

3. 令和7年度事業計画

○重点項目

テーマ	概 要
地域や各団体等における年金制度説明会開催の拡充	<p>(継続取り組み)</p> <ul style="list-style-type: none">各関係機関（団体）および市町村等と協力・連携を図りながら、地域や事業所等における年金制度説明会の開催および講師派遣を積極的に実施してまいります。年金制度説明会の開催に向けた事業所への周知、広報等を積極的に行ってまいります。 <p>(強化取り組み)</p> <p>「ねんきんネット」 および「電子申請」利用者拡大に向けた各事務所内および外部へのPR活動の積極的な展開を図ってまいります。</p> <ul style="list-style-type: none">外国人被保険者に対しパンフレットの対応言語の拡大や「やさしい言葉」を使用した分かりやすい周知・広報に積極的に取り組めます。
教育関係機関とのネットワークの強化による年金セミナー開催の拡充	<p>(継続取り組み)</p> <ul style="list-style-type: none">県教育委員会や高等学校長協会、税務署等と協力・連携を図りながら、各高等学校でのセミナー開催について昨年度を上回るよう、アプローチを積極的に実施してまいります。また、セミナー開催が低調な地域への地域年金推進員を活用したアプローチを引き続き展開してまいります。年金セミナーの開催、未実施大学・専門学校へのアプローチ強化、年金ポスターコンクールでのPRとあわせた中学校へのアプローチを行い、開催拡大につなげてまいります。
年金委員の委嘱拡大および活動支援の強化	<p>(継続取り組み)</p> <ul style="list-style-type: none">各関係団体との協力・連携および全年金事務所における複数回の文書勧奨により委嘱拡大を図るとともに、積極的な各種研修会の開催、情報提供により年金委員の活動支援の強化に努めてまいります。年金委員が活動しやすい環境を整えると共に、年金委員制度および活動内容の周知による委嘱拡大を図るべく、関係機関との連携強化に向けた取り組みを積極的に進めてまいります。

3. 令和7年度事業計画

(1) 地域連携事業

(継続取り組み)

自治体、社会保険労務士会等、関係機関（団体）等と連携した年金制度の周知・啓発の実施

① 自治体との連携

- ・市町村の広報誌や行事等を通じた年金制度の周知
- ・市区町村向け広報誌「かけはし」の発行（奇数月）
- ・市町村の国民年金担当職員に対する研修・打合せ会等の充実

② 岩手県社会保険労務士会との連携

- ・社会保険労務士会との定期的な打合せの実施（毎月）
- ・街角の年金相談センター盛岡（オフィス）との定例会議の実施（年6回）
- ・社会保険労務士会主催の会員を対象とした研修会等への講師派遣

③ 全国健康保険協会岩手支部との連携

- ・年金委員委嘱拡大に向けた連携した取り組みの実施
- ・年金委員研修の共同開催
- ・ポスターの掲示およびリーフレットの設置依頼

④ 岩手県社会保険協会、岩手県年金協会との連携

- ・岩手県社会保険協会主催の研修会等への講師派遣
- ・年金委員制度の周知、委嘱への協力依頼

⑤ 岩手県商工会議所連合会および岩手県商工会連合会との連携

- ・ポスターの掲示およびリーフレットの設置依頼
- ・会員を対象とした研修会等への講師派遣
- ・会報誌への記事掲載

⑥ 報道機関等との連携

- ・各地域のケーブルテレビやFM局等との連携を図り、地域住民への公的年金制度の周知

(強化取り組み)

- ・年金制度説明会の開催および企業へのアプローチ
- ・関係機関との協力連携による研修会等実施の拡大
- ・外国人支援団体と協力連携した制度周知の展開

(2) 年金セミナー事業

(継続取り組み)

岩手県教育委員会や高等学校長協会等の協力を得て、高等学校や中学校および大学・専門学校等での年金セミナーを実施するほか、税務署と連携した取り組みを継続する。また、出張相談会の実施により、年金制度の内容や重要性について学生・生徒・その保護者に周知する。

① 高校生・中学生への年金制度の周知

- ・岩手県教育委員会、高等学校長協会、各学校等の協力を得ての年金セミナー実施
- ・教育関係者による社会保障制度の周知・啓発を行うネットワーク作り
- ・地域年金推進員による効果的な年金セミナーの実施

② 大学・専門学校生への年金制度の周知と学生納付特例等の届出勧奨

- ・各学校の協力を得て、年金セミナーの実施
- ・学生納付特例にかかる各学校構内でのポスター掲示、パンフレットの配布
- ・各学校構内における学生納付特例等相談会の開催

③ 地域年金推進員制度

- ・訪問や電話でのアプローチ、反応があった学校へ出向き、実施に向けた打ち合わせ
- ・学校側からのオーダーも踏まえ、年金セミナー資料の修正・追加のアドバイス
- ・学校で年金セミナーを実施
- ・集計したアンケート結果を確認し、学校へフィードバックするとともに、講師自身の振り返りによる説明力・研修の質の向上

④ 第6回岩手県年金ポスターコンクール

- ・岩手県内の中学校へ開催案内および応募への協力依頼
- ・応募実績校および近隣校に対し訪問により応募への協力依頼
- ・年金セミナー開催と連動した効果的な協力依頼
- ・図書施設、主要公民館、コミュニティセンター等へのポスター掲示依頼

⑤ 「わたしと年金」エッセイ募集

- ・一般、学生（中学生以上）を対象にエッセイを募集
- ・各教育機関、自治体、報道機関等の関係団体への募集にかかる協力依頼
- ・年金セミナー開催、年金ポスターコンクール募集と連動した効果的な協力依頼
- ・図書施設、主要公民館、コミュニティセンター等へのポスター掲示依頼

3. 令和7年度事業計画

(強化取り組み)

- ・未開催校へのアプローチ
- ・中学校に対しては、年金セミナー開催、エッセイ・ポスター募集を組み合わせて、効率的かつ効果的にアプローチを実施
- ・「わたしと年金」エッセイ募集にかかる周知協力機関の拡大
- ・特別支援学校に対する年金セミナー開催に向けたアプローチ
- ・幼稚園・保育園から小学生とその保護者を対象とした年金セミナー開催に向けたアプローチ

(3) 地域相談事業

(継続取り組み)

市町村、公共施設、商業施設等での出張年金相談の実施およびハローワークとの連携による国民年金手続き等の周知

① 年金相談の充実

- ・遠隔地の市町村等の協力を得て出張相談会を実施
- ・関係機関（団体）等からの要請による出張相談の実施
- ・商業施設等を利用した出張相談の実施
- ・社会保険労務士会への委託による年金相談の充実

② ハローワークにおける国民年金手続き等の周知

- ・雇用保険受給者説明会等における講師派遣またはDVD放映
- ・離職後の国民年金手続き等パンフレットの設置

(4) 年金委員活動支援事業

(継続取り組み)

職域型年金委員、地域型年金委員の協力による厚生年金被保険者や地域住民等へのチラシ配布など公的年金制度の啓発・普及の取り組みの支援

① 年金委員への支援および情報提供等

- ・年金委員を対象とした研修会の開催と内容の充実
- ・年金委員への積極的な情報提供
- ・職域型年金委員向け広報誌（スマイル～職域型年金委員便り～）の発行（年2回）
- ・地域型年金委員向け広報誌（支えあい～地域型年金委員だより～）の発行（年4回）
- ・地域型年金委員連絡会の定期的な開催

② 全国健康保険協会岩手支部との連携

- ・全国健康保険協会岩手支部との連携を強化し、医療・年金一体となった制度周知

③ 岩手県社会保険委員会連合会、岩手県社会保険協会および岩手県年金協会との連携

- ・岩手県社会保険委員会連合会および岩手県社会保険協会と連携し、職域型年金委員を対象とした研修会・説明会の実施
- ・岩手県年金協会と連携し、地域型年金委員を対象とした研修会・説明会の実施

④ 年金委員表彰伝達式の開催

- ・岩手県社会保険委員会連合会、全国健康保険協会岩手支部、岩手県社会保険協会との共催による年金委員表彰伝達式の実施

⑤ 年金委員の委嘱拡大

- ・職域型年金委員設置事業所および未設置事業所への文書または電話による推薦依頼の実施
- ・岩手県年金協会、岩手県社会保険労務士会および市町村への地域型年金委員の推薦依頼の実施

(強化取り組み)

- ・年金委員活動の活性化および委嘱拡大に向けた関係機関との協議・協力依頼の推進

(5) 岩手県地域年金事業運営調整会議

(継続取り組み)

地域に密着した公的年金制度の周知方法や納付率向上等について意見を交わし、事業の推進につなげることを目的として、有識者や関係機関・団体の民間委員から構成される岩手県地域年金事業運営調整会議を設置

① 岩手県地域年金事業運営調整会議の開催

- ・令和6年度事業実績報告等（令和7年7月25日開催）